

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2		職員間でのプログラムについての話し合いが必要である
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2	一人の発達段階に合わせたプログラムをばらばらに行っている	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		その日来る子供について確認し支援内容、分担について話し合っている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	行われた支援内容や子供一人一人について気付いた点を話し合っている	時間的な余裕が無く深い話し合いが難しい
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	1		
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	3		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保育園等での様子を見学し、保育士との話し合いをする事で相互理解を図っている	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4		職員全員が研修を受ける機会を増やしていく必要がある
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2		